

庁議事案書

日付	令和6年1月9日（火）	会議種別	政策会議
		事案種別	審議事項
事案名称	茅ヶ崎市地域公共交通計画（素案）について		

1. 事案の概要

提案理由 取り組み内容	<p>【背景・計画の概要】</p> <p>地域公共交通計画は、鉄道、バス、タクシー等公共交通の「地域にとって望ましい旅客運送の姿」を明らかにする地域交通のマスタープランとして、令和2年11月の「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（以下活性化再生法という。）」の改正によって作成が努力義務となりました。県内では令和5年7月現在で11市町が作成済みです。</p> <p>本市では、平成14年度に茅ヶ崎市総合交通プラン、平成16年度に茅ヶ崎市乗合交通整備計画を策定以降、令和2年度までの計画期間に市内の調和ある交通体系の構築を目指し、コミュニティバス4路線6コース及び予約型乗合バスの運行開始等さまざまな取組を実施してきました。しかしこの間、少子高齢化の進展、運転士不足、新たな生活様式の定着、IT技術の進化など公共交通を取り巻く情勢は大きく変化したことから、令和4年に活性化再生法に基づき公共交通事業者や利用者の代表等を構成員とする審議会を立ち上げ、本市の公共交通のあり方について2か年にわたり本計画の検討を進めてきました。同会議での議論を経て、市民の移動手段を持続可能なかたちで確保、維持し、全ての人がお出かけできるまちづくりを推進する計画を策定するものです。</p> <p>計画期間については5年としています。</p>
	<p>【策定のポイント】</p> <p>①公共交通や徒歩、自転車による鉄道駅までの移動の利便性向上 「茅ヶ崎駅周辺の交通環境の改善」、「コミュニティバス、予約型乗合バスのサービス水準の設定」等</p> <p>②地域内の移動しやすさの向上 「コミュニティバスの運行見直し」、「予約型乗合バスの運行改善」、「企業バス、福祉バス、福祉輸送等の交通手段の活用検討」等</p> <p>③多様な移動を支える仕組みづくり 「地域の交通手段確保の仕組み構築及び推進」、「モビリティマネジメントによる公共交通、自転車、徒歩への転換促進」等</p> <p>【今後のスケジュール】</p> <p>全員協議会（1月下旬）→まちぢから協議会連絡会（2月14日）→パブリックコメント（3月1日～3月31日）→計画の改定及び公表（4月）</p>
審議事項等	「茅ヶ崎市地域公共交通計画」を策定することについて

2. 行政計画等との関係

(1)茅ヶ崎市総合計画					
主たる政策目標	7.利便性が高く、魅力的な都市空間が整うまち				
関連する政策目標	政策目標 1	政策目標 2	政策目標 3	政策目標 4	政策目標 5
(2)その他関連計画	ちがさき都市マスタープラン				
(3)関係法令	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律				
事案担当	都市部都市政策課	内線	2331		
関係部課					

政策会議結果報告書

(審議事項 報告事項)

1 開催日	令和6年1月9日(火)
2 件名	茅ヶ崎市地域公共交通計画(素案)について
3 事案担当	都市部都市政策課
4 関係部課	
5 出席者	<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 副市長 <input checked="" type="checkbox"/> 副市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 病院事業管理者 <input checked="" type="checkbox"/> 理事経営総務部長 <input checked="" type="checkbox"/> 理事福祉部長 <input checked="" type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席
6 説明者	都市部長 都市政策課長 課長補佐交通計画担当
7 会議結果	本案件については、提案のとおり承認される。
8 主な意見等	<p>* バス路線が近い住宅市街地に居住されている高齢の方から買い物難民になっているとの話を聞いた一方で、茅ヶ崎駅を集合場所としたイベントに高齢の方が何らかの交通手段で大勢集まっている様子も目にする。 コミュニティバスについて、駅を起終点に見直すなどの利便性を向上させる工夫は有効とも思うが、利用する・しないを含む多様な市民ニーズをどう捉えているか。 【市長】</p> <p>→ コミュニティバスのみで全ての移動のニーズを満たすことはできないことから、効率よく走らせることを念頭に置いています。</p> <p>* パターンダイヤの可能性はあるのか。【岸副市長】</p> <p>→ 現在はコミュニティバスの全ての路線が市立病院を起終点としているため、一周の距離が長く、距離が長いとバスの台数を増やさなければならないことから、パターンダイヤの採用は困難です。 本計画のビッグデータを用いた分析で明らかになった事実をもとに、駅を起終点に切り替えることでルートを短くできるのではないかと考えています。</p> <p>* 北茅ヶ崎駅も起終点として想定しているのか。【岸副市長】</p> <p>→ 鉄道駅として対象となります。北茅ヶ崎駅については、東口整備とも関連付けて検討していきたいと考えています。</p> <p>* 茅ヶ崎駅と距離が近いという意見もありそうだが。【岸副市長】</p> <p>→ 全てのコミュニティバス路線の起終点を茅ヶ崎駅にしてしまうと渋滞が懸念されることから、鉄道駅全てを対象と考えています。 地域住民と議論しながら整理していきたいと考えています。</p>

* 駅を起終点にすることで採算が取れるようになれば、事業主体を民間にできるのではないかと。【塩崎副市長】

→ コミュニティバスは路線バスを補完する交通として位置付けており、現状で黒字路線はありません。

ご指摘いただいた民間事業者の運行の可能性はないとは言えませんが、運転手などの人材面のほか、狭い道路を運行する特性上、運行車両が小型であることなどから黒字化の実現は難しい状況にあります。

* 現在のルートで最も収支率が高い路線の採算はどうか。【塩崎副市長】

→ 中海岸南湖循環市立病院線が夏季に一時的に黒字になることはありますが、年単位で黒字にはなってはいません。

* 本計画でコミュニティバスの運行見直しの基準を設けることとしているが、厳しめの基準という理解でよいか。【教育長】

→ 現在の運行状況からすれば厳しめで、地域からの意見も踏まえたルートや運行頻度を見直した上でその水準に達しなければ、他の交通手段への転換を検討することになっています。

* 現在の市立病院を起終点としているコミュニティバスに関する課題は感じているが、本計画に基づくルート見直しで市立病院の発着はどうなるのか。市立病院への移動手段として必要性はあると考えるので、ルート見直しにあたって市立病院と調整して欲しい。【病院事業管理者】

→ 市立病院が目的地の一部になることも認識していますので、具体的なルート見直しの際には十分に調整いたします。